

目標達成計画

作成日: 平成22年3月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化した場合どうするのか、終末期はどこで過ごすか等、お年寄りや、家族の思いを把握できていない。 ・看取りには、医療、看護が必要であり、現状では職員の負担が大きく、十分な対応が出来ない。 ・やすらぎの郷で出来ること、出来ないことが明確になっておらず、あいまいな部分も多く、不安である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの最期の時を大切に、本人、家族、職員が思いを共有し、安心して過ごせる様、環境を整える。 ・重度化や終末期に向けた、看取りに関する段階的な合意が得られる様、信頼関係を築いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・センター方式シート(C-1-2)を使い、お年寄り、家族の方の現時点での思いを聴く。 ・看取りに関する指示書を家族の方と取り交わす。対応マニュアルの作成。 ・看取り、介護士の医療行為について、学習会をして知識を高め、不安の軽減の方法を検討、グループホームで出来ることを明確にし、家族の方にも誠意をもって説明し、一緒に考えて頂く。 	3ヶ月
2	26	<ul style="list-style-type: none"> ・事業日誌にケアプラン記入されているが、それを通して日々の介護が行われていることを、全職員が共有できておらず、継続性が無く、職員の都合で変更されている部分もあり、モニタリング、情報、方向性の共有が必要。 ・お年寄りや、家族の方の参加は無く、暮らし方の希望や意向、思いが反映されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画について、全職員で考え、カンファレンス、モニタリングの必要性を知り、実施していく。 ・家族の方から情報を頂き、もう一度一人ひとりを見つめ直し、より良い支援を行う。 ・お年寄りの生活がより良いものになる様、介護計画を立て、継続的に実施、見直しをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・センター方式シートを学び、取り入れてみる。面会時など、家族の方にも聴きながら記入。 ・担当者がアセスメントする。(一部、配布済) ・職員会で話し合う“お年寄りの様子”をカンファレンスシートにのせてみる。慣れてきたら、月1回、順番にカンファレンスを実施し、介護計画を立案。職員会、変化時、随時モニタリング実施。 	6ヶ月
3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい情報や、考え方について、学ぶ機会があまり無く、パーソンセンタードケアの取り組みが出来ていない。 ・何気ない言葉や態度で、どれだけお年寄りが傷ついているか、職員が気付いていない。 ・拘束、虐待、権利擁護等の内容を正しく理解出来ていない。(勉強不足) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会を行い、知識、理解を深め、職員の意識を高めて取り組み、日々の介護に活かしていく。 ・お年寄りと、きちんと向き合い、共に生きることの大切さを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度より、月1回勉強会を実施。 ・その中で、高齢者の権利擁護や身体拘束に関する気付きを持てる学習会を行い、生活を整えるケアとして、職員全員で共通認識を持つ。 	12ヶ月
4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の定期開催が出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期開催し、外部からの率直な意見を聴き、サービスの向上につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期開催実施。一年間の予定は通知済み。 ・りんご狩りや、家族会にも参加していただき、書類上の報告だけでなく、普段の様子も見て頂き、お年寄りにも接して頂く。 	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。